

# 自公民で悪法成立へ

## 民主の政府応援 市田氏が批判



記者会見する市田忠義書記局長(25日、国会内)

首相や閣僚が憲法の定める出席義務に反し、参院で審議が中断していた問題で、民主党は26日、生活保護改悪法案など閣法(政府提出法案)の成立を優先させる方針に転換しました。

成多数で悪法が成立させられる事態となっただけで、それを容認して閣法を通すために政府・与党に協力するというのは許されない」と批判しました。

同日の野党書記局長・幹事長会談で日本共産党の市田忠義書記局長は「正式な手続きにもとづいて招集された予算委員会を、総理や

閣僚がボイコットするのは憲法違反もはなはだしい。それを容認して閣法を通す

席上、民主党の細野豪志

幹事長は「明日(26日)、予算委員会を開くことは物理的に難しい」と表明。「自分たちが政権時代から準備してきた法案なので成立させる」このべ、悪法を与党と一体で押し通す考えを表明しました。

## 「生活保護改悪必ず廃案」国会前



生活保護の改悪を許さないと盛り込む人たちが25日、国会前

↓記事の面

これに対し、市田氏は「予算委員会に総理も閣僚も出てこない状況を容認して、閣法を通すために協力するというのは理屈が成り立たない」と反論しました。民主党が成立させようとしている生活保護改悪法案などについて「国民の立場から、いい法案とは思わない」と指摘。

市田氏は「安倍政権に立ち向かうどころか、応援する立場に民主党が立ったと言われても仕方がない」と批判しました。

他の野党からも「憲法と国会ルールが問われている。閣法優先で政府に協力するのは裏切りだ」(新党改革・荒井広幸幹事長)など民主党を批判する発言が相次ぎました。

↓関連の面